

上海都市住宅及び都市建設管理委員会 科学技術委員会 橋本研究室
第2回 橋本研究室会議 軌道交通及び地下河川技術交流会

【開催概要】

開催場所：中国上海市 STEC 1階会議室、上海市科学技術委員会 会議室

開催日時：平成30(2018)年9月3日(月)、4日(火)

主催：上海市住建委科学技術委員会 橋本研究室
上海市土木工程学会地下工程専門委員会

後援：申通集団、上海市水務局、STEC、上海建工集団、上海岩土設計院 隧道網

参加委員：橋本正 (GRI)、KY Yong (シンガポール国立大学)、小山幸則 (立命館大学)、
小西真治 (早稲田大学、東京メトロ)、杉本隆男 (早稲田大学 元東京都)、
向井寛行 (京阪電鉄 OB)、坂下幸泰 (阪神高速技研)、川上卓 (大阪府)、
豊田正明 (大阪府)、柿本恭志 (大阪メトロ)、齋藤憲 (ニュージェック)、
朱合華、馬陝峰 (同済大学)、叶冠林 (上海交通大學)

参加者：上海市科技委関係者、MAX 研究室関係者、上海市専門家、上海市水務局、
上海市水務投資集団、申通集団、大学、設計院、施工会社など

組織委員会：石井康裕・兪登華・徐志玲 (阪申土木技術公司)、馬陝峰 (同済大学)、
叶冠林 (上海交通大學)、蔡永生 (GRI,上海岩土設計院)

(敬称略)

【 地下河川技術検討会 】

9月3日（月）城建大厦1階会議室で第3WG 地下河川技術検討会を開催しました。

当日は共同主催の上海市住建委科学技術委員会 Max Dohmann 教授（ドイツ アーヘン工科大学）、Max 研究室メンバーを始め、上海市住建委、上海市水務投資集団、設計会社（上海隧道設計院、上海市政設計院、同済大学設計院、上海城建設計院など）、施工会社（STEC、上海建工集団など）、科技委専門家委員会（地下空間専門家委員会、水務専門家委員会、施工専門家委員会など）、上海土木学会、大学及び研究所など、建設・設計・投資・施工業者・研究機関から150人以上が出席しました。



会場の模様

活発な質疑応答がなされました。

上海住建委総工程師 劉 千偉氏より開会挨拶と蘇州河地下貯留・河川プロジェクトについて概要の紹介がありました。

上海市は蘇州河に沿った旧市街地の洪水対策のために、中国最大規模の大深度地下排水貯留トンネルの建設を年内に開始する予定です。このプロジェクトの建設と運営段階に色々な課題があるため、日本、ドイツ、シンガポールなどの技術を参考にして多くのアドバイスを得ながら事業を進めたい意向を述べられました。

上海市水務局副局長 朱 石清 氏 及び 劉 千偉 氏 の司会のもと、合計10名の専門家が発表し、その後活発な質疑応答がなされました。



発表の様様
合計 10 名の専門家の方々に発表頂きました。

1. 城投水務集団 王 碧波
蘇州河地下貯留・河川プロジェクトの現状と課題
2. MAX 研究室 Max Dohmann
ドイツの都市排水システムの現状について
3. MAX 研究室 Felix Rupp
ウィーン地下河川の建設について
4. 大阪府 川上 卓
寝屋川流域の総合治水対策
5. 早稲田大学 杉本 隆男
2017 年 台風 21 号における河川施設のストック効果
6. 上海市政設計院 曹 晶
蘇州河工事の状況と水力学及び設計上の関連技術
7. MAX 研究室 Lothar Fuchs
都市水害の典型的な被害とリスクの管理
8. ニュージェック 齋藤 憲
寝屋川地下河川の急勾配高落差への対応技術
9. MAX 研究室 Saskia Pape
世界の各都市（シカゴ、ウィーン、ドバイ等）と上海の地下河川の比較
10. MAX 研究室 陳 燦
地下河川建設の課題の集約（水量、水質、排気消臭、貯留水の排出、堆積の掃除、モニタリングなど）

（敬称略）

【 軌道交通技術検討会 】

9月4日(火)午後、科技大廈9階会議室で、橋本研究室第2WG 軌道交通技術検討会を開催しました。

上海住建委及び上海市科技委関係者、申通集団、上海隧道設計院、上海市政設計院、上海城建設院、STEC、基礎公司、上海岩土設計院、大学から30人以上出席しました。

橋本座長による開会挨拶の後、劉千偉 総工程師より上海地下鉄の現状を紹介があり、今後の方向性を説明しました。

2035年までに都心部地下鉄1,000km、市域快速軌道1,000kmと中運量交通ネットワーク1,000kmの合計3つのネットワーク3,000kmを計画・建設していますが、残りの地下鉄の建設と他のネットワークをいかに建設・運営するかが今後の課題であることを述べられました。その後、6名の専門家による発表と質疑応答がなされました。



参加委員

1. 申通集団 王 秀志
上海地下鉄の建設と非開削建設技術の紹介
上海地下鉄：現在、673kmが完成し、216kmが建設中、284kmが計画中
最終計画 合計27線1,100km
2. シンガポール国立大学 Yong Kwet Yew
シンガポールの地下鉄ネットワークについて
3. 大阪メトロ 柿本 恭志
大阪地下鉄の現状
4. 早稲田大学(東京メトロ) 小西 真治
東京メトロの地下鉄事業概要とネットワーク整備の歴史、駅部改良工事などの紹介
5. 立命館大学 小山 幸則
非開削地下駅建設技術について
6. 大阪府 豊田 正明
大阪府鉄道整備の事業化プロセスについて

(敬称略)